

官報

號外 昭和二十年一月二十二日

○第八十六回帝國議會 貴族院議事速記録第三號

昭和二十年一月二十一日(日曜日)午前
十時六分開議

議事日程 第三號

第一 恩給法中改正法律案(政府提出)
第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ
特別委員ノ選舉

第三 明治三十五年法律第四十九號國勢調査ニ關スル法律ノ昭和二十年ニ於ケル特例ニ關スル法律案(政府提出)
第一讀會

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ
特別委員ノ選舉

第五 兵役法中改正法律案(政府提出)
第一讀會

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ
特別委員ノ選舉

第七 陸軍軍法會議法中改正法律案(政府提出)
第一讀會

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ
特別委員ノ選舉

第九 海軍軍法會議法中改正法律案(政府提出)
第一讀會

第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ
特別委員ノ選舉

第十一 戰時民事特別法中改正法律案(政府提出)
第一讀會

第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ
特別委員ノ選舉

第十三 會社等臨時措置法中改正法律案(政府提出)
第一讀會

第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ
特別委員ノ選舉

第十五 司法官試補及辯護士試補タル資格ノ特例ニ關スル法律案(政府提出)
第一讀會

第十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ
特別委員ノ選舉

第十七 現役青年學校職員俸給費國庫補助法案(政府提出)
第一讀會

第十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ
特別委員ノ選舉

第十九 農林中央金庫法中改正法律案(政府提出)
第一讀會

第二十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ
特別委員ノ選舉

第二十一 産業設備營團法中改正法律案(政府提出)
第一讀會

第二十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ
特別委員ノ選舉

第二十三 石炭配給統制法中改正法律案(政府提出)
第一讀會

第二十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ
特別委員ノ選舉

○議長(公卿德川國親君) 去ル十四日、豐受大神宮宮城ニ敵機來襲ニ付、翌十五日、議長ハ議院ヲ代表シテ參内シ天機竝 皇后陛下ノ御機嫌ヲ奉伺致シマシタ、又同日大宮御所ニ參入シ皇太后陛下ノ御機嫌ヲ奉伺致シマシタ

○議長(公卿德川國親君) 他ノ諸般ノ報告ハ、御異議ガナケレバ朗讀ヲ省略致シマス

〔參照〕
昭和十九年十二月二十七日本院ニ於テ可決シタル陸海軍ニ對スル感謝決議文ハ即日之ヲ陸軍大臣及海軍大臣ニ送致セリ

同月二十八日內閣總理大臣ヨリ左ノ通第八十六回帝國議會政府委員仰付ラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

內務省所管事務政府委員
防空總本部次長 熊谷 憲一君
去ル十三日陸軍次官ヨリ陸海軍ニ對スル本院ノ感謝決議ニ對シ左ノ謝辭アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

防衛總司令官
第八十六議會開會ニ際シ全會一致ヲ

以テ寄セラレタル熱誠御懇篤ナル感謝竝敬弔ノ決議ニ接シ感激ニ堪ヘス御稜威ノ下將兵一同戮力協心至誠敢闘以テ皇土ノ防衛完遂ニ邁進シ全國民總意ノ御激勵ニ應ヘンコトヲ期ス茲ニ深厚ナル謝意ヲ表ス

東部軍司令官
爰ニ第八十六回帝國議會開會ニ際シ陸軍將兵並戰死者ニ對シ貴衆兩院ヨリ夫々懇篤ナル感謝敬弔ノ決議ヲ忝ウシ洵ニ感激ニ堪ヘス今や敵ノ總反攻態、熾烈ニシテ戰局益々緊急ヲ加フルノ秋軍ハ謹ミテ聖旨ヲ奉戴シ御稜威ノ下戮力協心全力ヲ揮テ仇敵ヲ擊摧シ以テ神州護持ノ重責完遂ニ邁進セシコトヲ期ス直ニ決議ノ趣ヲ裁下各部將兵ニ傳達スヘク茲ニ謹ミテ深甚ナル謝意ヲ表ス

中部軍司令官
第八十六回帝國議會ニ於テ鄭重ナル感謝竝ニ敬弔ノ意ヲ表セラレ感謝ニ堪ヘス茲ニ中部軍將兵ヲ代表シ深甚ナル謝意ヲ表スルト共ニ今後益々奮闘必勝ヲ期ス

西部軍司令官
第八十六議會開會ニ際シ全會一致ノ熱誠眞摯ナル感謝決議ヲ寄セラレ感激ニ堪ヘズ將兵一同志氣奮、昂揚誓ツテ御期待ニ副ハンコトヲ期ス

北部軍司令官
今般第八十六回帝國議會開會ニ方リ軍ニ對シ全員一致ノ決議ヲ以テ熱誠溢ルル感謝ノ意ヲ寄セラレ誠ニ感激

ニ堪ヘス謹ミテ深甚ナル謝意ヲ表ス軍ハ御稜威ノ下將兵一同戮力協心愈團結ヲ強固ニシ北邊防衛ノ完遂ヲ期シアリ

臺灣軍司令官
今般第八十六議會開會ニ際シ貴院ヨリ陸軍將兵並ニ戰死者ニ寄セラレタル熱誠ナル感謝敬弔ノ決議ニ對シ茲ニ深甚ナル謝意ヲ表ス

朝鮮軍司令官
八十六回議會ニ際シ全會一致ヲ以テ將兵並ニ戰死者ニ對シ熱誠眞摯ナル感謝敬弔ノ決議ヲ寄セラル誠ニ感謝感激ノ至リニ堪ヘズ當軍將兵一同益々志氣旺盛北邊鎮護ニ任ズルト共ニ愈々英米聯軍防衛完壁ニ向ツテ邁進シ誓ツテ聖旨ニ應ヘ奉リ國民ノ御期待ニ副ハンコトヲ期シアリ茲ニ裁下將兵一同ヲ代表シ深甚ナル感謝ノ意ヲ表ス

關東軍司令官
今般八十六回帝國議會開會ニ方リ貴院全會一致ノ決議ヲ以テ深甚ナル感謝ノ意ヲ寄セラレ感激ニ堪ヘズ茲ニ關東軍將兵一同ヲ代表シ謹ミテ感謝ノ意ヲ表ス戰局重大ノ秋當軍ノ將兵愈々鞏固ナル團結ヲ以テ志氣益々旺盛北邊鎮護ノ重責ヲ全ウシ以テ聖慮ヲ安ジ奉ルト共ニ就後各位ノ御期待ニ副ハムコトヲ期ス

支那派遣軍總司令官
貴院全會一致ノ感謝敬弔決議ニ接シ感激ニ堪ヘズ派遣軍將兵一同驕敵ニ

對シ愈々憤激ヲ新ニシ飽ク迄之ヲ急追
擊滅シ大東亞戰完勝ノ一途ニ邁進セ
ンコトヲ期ス茲ニ派遣軍ノ決意ヲ披
瀝スルト共ニ深甚ナル謝意ヲ表ス

南方軍總司令官
第八十六議會開會ニ際シ感謝敬申ノ
御決議ニ接シ感激ニ堪ヘス皇國隆替
ノ機ニ方リ舉軍一體決死敢闘以テ聖
戰目的ノ完遂ヲ期ス

航空軍司令官
戰局愈々危急 皇國ノ興廢一ニ繫リテ
今日ノ決戰ニ在リテ當軍ノ責務眞ニ
重且大ナルノ秋今般第八十六回帝國
議會開會ニ際シ特ニ院議ヲ以テ軍將
兵並ニ戰死者ニ對シ熱誠懇篤ナル感
謝敬申ノ辭ヲ承リ衷心感激ニ堪ヘズ
軍ハ愈々決意憤激ヲ新ニシ上下一
致萬難ヲ克服シ戰局ニ即應スル精強
ナル航空戰力ヲ培養育成シテ重責完
遂ノ一途ニ邁進シ以テ 聖旨ニ應ヘ
奉リ且御期待ニ副ハムコトヲ期ス茲
ニ蘇下將兵一同ヲ代表シ深甚ナル謝
意ヲ表シ併セテ軍ノ決意ヲ述ブ

從三位勳二等 仁井田益太郎君
去ル十五日薨去セラル依テ十八日弔辭
ヲ贈レリ
正六位勳二等 野村 德七君
去ル十五日死去セラル依テ十九日弔辭
ヲ贈レリ
一昨十九日政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セ
リ
恩給法中改正法律案
明治三十五年法律第四十九號國勢調

查ニ關スル法律ノ昭和二十年ニ於ケ
ル特例ニ關スル法律案
兵役法中改正法律案
陸軍軍法會議法中改正法律案
海軍軍法會議法中改正法律案
戰時民事特別法中改正法律案
會社等臨時措置法中改正法律案
司法官試補及辯護士試補タル資格ノ
特例ニ關スル法律案
現役青年學校職員俸給費國庫補助法
案
農林中央金庫法中改正法律案
津業設備官團法中改正法律案
石炭配給統制法中改正法律案
同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通第八十六
回帝國議會政府委員仰付ラレタル旨ノ
通牒ヲ受領セリ

內務省所管事務政府委員	堀田 健男君
防空總本部業務局長	堀田 健男君
臺灣總督府總務局長	成田 一郎君
大藏省所管事務政府委員	武君
大藏省國民貯蓄局長	氏家 武君
大藏省理財局長	式村 義雄君
大藏省外資局長	久保 文藏君
大藏省銀行保險局長	迫水 久常君
大藏省書記官	吉村 成一君
同	福田 越夫君
同	平田 登一郎君
同	阪田 泰二君
同	窪谷 直光君
同	濱田 幸雄君
實業局長官	濱田 幸雄君

昨二十日海軍次官ヨリ陸海軍ニ對スル
本院ノ感謝決議ニ對シ聯合艦隊司令長

官ヨリ左ノ謝儀アリタル旨ノ通牒ヲ受
領セリ
貴族院ノ御懇篤ナル感謝並ニ敬申ノ
決議ニ接シ感激ニ堪ヘズ戰局ハ愈々
苛烈トナリ將ニ皇國ノ興廢一ニ關ス聯
合艦隊ハ全員神風特別攻擊隊ノ精
神ニ徹シ必死必殺戰鬪ヲ擊滅シ誓ツ
テ 聖慮ヲ安ンジ奉ランコトヲ期ス
茲ニ聯合艦隊ヲ代表シ深厚ナル謝意
ヲ表ス

○議長(公爵德川昭憲) 是ヨリ本日
ノ會議ヲ開キマス、昨年十二月二十六
日、第九部部長公卿府司信輔君ヨリ、
職務上ノ都合ニ依リ部長辭任ノ申出ガ
ザイマシタ、許可ヲ致シテ御異議ゴ
ザイマセヌカ

○議長(公爵德川昭憲) 御異議ナ
ト認メマス、就キマシテハ、第九部ニ
於テ其ノ補闕選舉ヲ行ハレムコトヲ望
ミマス

○議長(公爵德川昭憲) 請暇ノ件ニ
付御諮リヲ致シマス、侯爵醍醐 忠重
君、侯爵前田利建君、阿部信行君、何
レモ公務ニ付會期中、侯爵四條隆德君
公務ニ付十日間、子爵上原七之助君、
安宅彌吉君、何レモ病氣ニ付會期中、
子爵青木信光君病氣ニ付三十九日間、
請暇ノ申出ガゴザイマシタ、許可ヲ致
シテ御異議ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川昭憲) 請暇ノ件ニ
付御諮リヲ致シマス、侯爵醍醐 忠重
君、侯爵前田利建君、阿部信行君、何
レモ公務ニ付會期中、侯爵四條隆德君
公務ニ付十日間、子爵上原七之助君、
安宅彌吉君、何レモ病氣ニ付會期中、
子爵青木信光君病氣ニ付三十九日間、
請暇ノ申出ガゴザイマシタ、許可ヲ致
シテ御異議ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川昭憲) 請暇ノ件ニ
付御諮リヲ致シマス、侯爵醍醐 忠重
君、侯爵前田利建君、阿部信行君、何
レモ公務ニ付會期中、侯爵四條隆德君
公務ニ付十日間、子爵上原七之助君、
安宅彌吉君、何レモ病氣ニ付會期中、
子爵青木信光君病氣ニ付三十九日間、
請暇ノ申出ガゴザイマシタ、許可ヲ致
シテ御異議ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川昭憲) 御異議ナ
イ
ト認メマス

○議長(公爵德川昭憲) 日程ニ入
ルニ先ダチマシテ、内閣總理大臣、外務
大臣ヨリ、發言ヲ求メラレテ居リマス
カラ、是ヨリ之ヲ許可致シマス、小機
内閣總理大臣

○國務大臣(小機昭昭) 茲ニ第八十
六回帝國議會ニ臨ミ、政府ノ所信ヲ披
瀝スルノ機會ヲ得マシタコトハ、私ノ
最モ欣幸トスル所デアリマス、先般開
院式ニ當リマシテハ、特ニ優渥ナル
勅語ヲ賜リ、誠ニ恐慌感激ニ堪ヘマセ
ヌ、私ハ諸君ト共ニ、謹ミテ聖旨ヲ奉體
シ、一億同胞ノ總力ヲ結集シテ、益々
戰力増強ニ邁進シ、有ラユル困難ヲ排除
克服シテ、速カニ戰爭目的ヲ完遂シ、以
テ聖慮ヲ安ンジ奉リタイト存ジマス、
諸君、戰局ノ進展ハ愈々急調ヲ示シ、今
ヤ皇國ハ、大東亞戰爭勃發以來最モ重
大ナル局面ニ際會シ、眞ニ興廢ノ關頭
ニ立ツニ到リマシタ、昨秋、敵ノ進攻
企圖ニ對シ、帝國陸海軍部隊ハ、之ヲ
臺灣沖及比島沖ニ激撃シ、赫々タル大
捷ヲ博シタノデアリマスガ、敵ハ斯ク
ノ如キ大損害ヲ蒙リツ、モ、豐富ナル
物量ノ掩護下ニ、「レイテ」島ニ上陸シ
來リ、續イテ「ミンドロ」島ヲ侵シ、遂
ニ今日「ルソン」島ニ多數兵團ニ上ル敵ノ
上陸ヲ見ルノ重大ナル形勢ニ立チ到ッ
タノデアリマス、敵ノ比島進攻以來、烈

烈タル國體護持ノ氣魄ニ振ヒ起ツ皇
將兵ハ、全員盡ク特別攻擊隊トナリ、
或ハ敢然敵艦ヲ必死必中ノ猛撃ヲ加
ヘ、或ハ敵飛行場ニ強行突入シ、又時
ハ敵中ニ挺身、必殺ノ斬込ヲ行フ等、
皇軍將兵ニシテ始メテ克ク爲シ得ル所
ノ、壯烈無比ナル攻撃ヲ敢行シテ居リ
マス、私ハ特別攻擊隊勇士ヲ始め、皇
軍將兵ガ、斯クモ見事ニ國體ノ護持眞髓
ニ徹シ、七生報國、純忠ノ氣魄ヲ發揮
シテ居リマスコトニ對シ、唯々感激ニ
堪ヘザル次第デアリマス、此ノ機會ニ
私ハ諸君ト共ニ、大東亞各地ニ勇奮奮
闘セラレテ居リマス皇軍將兵ニ對シ、
深甚ナル敬意ヲ謝意トヲ表シ、壯烈
國ノ華ト散ラレタル幾多忠靈ニ對シ、
謹ミテ敬申ノ誠ヲ捧ゲ、戰傷病將士ニ
對シ、又御遺族ノ方々ニ對シ、衷心ヨ
リ御同情申上グルト共ニ、軍人援護ノ
事業ニ付キマシテハ、現下ノ戰局ニモ
鉅ミ、甚ニ之ガ強化徹底ニ關スル方策
ヲ斷行シ、戰歿忠靈ノ遺児ニ對スル育
英ヲ國家ニ於テ負擔スルノ外、更ニ軍
民扶助ノ強化、其ノ他軍人援護ニ關ス
ル諸般ノ措置ヲ講ジ、以テ前線將兵ヲ
シテ後顧ノ憂ナカラシムルコトヲシタ
次第デアリマス、繼ツテ現段階ニ於ケ
ル戰局ヲ大綱致シマスルニ、太平洋方
面ニ於キマシテハ、戰勢必ズシモ樂觀
ヲ許サナイ現狀デハアリマスガ、敵
ノ長延ナル補給路ハ、全線ニ互ツテ我
ガ攻撃ノ前ニ暴露セラレテ居リ、茲ニ
我方ノ勝利ヲ把握スベキ好機ノ存スル

○議長(公爵德川昭憲) 請暇ノ件ニ
付御諮リヲ致シマス、侯爵醍醐 忠重
君、侯爵前田利建君、阿部信行君、何
レモ公務ニ付會期中、侯爵四條隆德君
公務ニ付十日間、子爵上原七之助君、
安宅彌吉君、何レモ病氣ニ付會期中、
子爵青木信光君病氣ニ付三十九日間、
請暇ノ申出ガゴザイマシタ、許可ヲ致
シテ御異議ゴザイマセヌカ

コトヲ確信スル次第アリマス、加之
昨夏以來、支那大陸ニ展開セル皇軍
ノ作戦ハ、中南支ニ於ケル敵軍據點
ヲ覆滅シテ、在支米空軍ニ奮動ノ餘地
ナカラシムルト共ニ、更に進ンデ南支
佛印間ノ陸路連絡ヲ打通シ、一方、北
部「ビルマ」國境方面ニ於テモ、敵「ビ
ルマ」軍國企圖ニ對シ、皇軍將兵ハ克
ク勇戦敢闘ヲ續ケツ、アリマス、而シ
テ北邊鎮護ニ任ズル皇軍將兵亦儼然ト
シテ敵米英ニ侵寇ノ餘地ナカラシムル
ノ威力ヲ示シツ、アリマシテ、我が東
亞防衛ノ戰略態勢ハ極メテ鞏固デアリ
マス、サレバ一億同胞ハ、今コソ憤激
ヲ新タニシテ特別攻撃隊勇士ノ後ニ續
キ、生産場裡ニ愈ニ必勝ノ闘魂ヲ發揮
シ、政府亦全力ヲ揮ツテ速カニ必勝施
策ヲ實行シ、官民一體、萬難ヲ排シテ
一意戦力ノ増進ニ邁進シ、以テ前線將
兵ノ勇戦ニ應フベキ銃後ノ責務ヲ完ウ
スルノ秋デアリマス、一億同胞ノ今日
此ノ際ニ於ケル勦所ナキ總努力ノ成
果ハ、總テ比島周邊ノ敵ヲ殲滅シ去ル
ノミナラズ、「ラバウル」「ブーゲンビル」
等ノ皇軍將兵ト相呼應シテ、戦局轉換
ノ基礎ヲ固ムベキ決戦戦力ニ結晶スル
モノト信ジマス、此ノ重大ナル戦局ヲ
打開スル爲、政府ノ執ラムトスル決戦
施策ノ根本基調ハ、現有戦力ノ急速ナ
ル増進ニ依ル戦力ヲ飛躍的向上ニ其ノ
重點ヲ指向シ、以テ戦争完遂ニ對スル
必勝體制ヲ確立スルト共ニ、各般ノ施
策ヲ強力且果斷ニ實行スルニ在リマス、

サウシテ、現下ノ決戦ニ臨ム國政運
營ノ根本的態度ハ、徒ニ戦局ノ
一弛一張ニ喜憂スルコトナク、飽ク迄
モ必勝ノ大道ヲ邁進スベキ強力ナル政
治ヲ具現スルノ一途ニ在ズルデアリマ
ス、政府ハ行政運営ノ徹底の決戦化ヲ
圖ル爲、先ツ中央地方ヲ通ジ、行政ノ
綜合運営ニ關シ、一層適切ナル措置ヲ
講ズルト共ニ、地方行政協議會長ト、
地方陸海軍當局トノ聯繫ヲ緊密ニシテ、
防衛並ニ戦力増進ニ關スル軍官施策ノ
一體の推進ニ遺憾ナキヲ期シテ居リマ
ス、最近敵ハ帝都ヲ始メ本土ノ要部ニ
對シ、頻々トシテ空襲ヲ加ヘテ參リマ
シタ、殊ニ過日長タモ、伊勢神城ヲ冒
シ奉ルノ舉ヲ見ルニ至リマシタコト
ハ、一億同胞ノ眞ニ痛憤措ク能ハザル
所デゴザイマス、併シナガラ空襲ノ被
害ハ極メテ輕微デアリ、國民ノ志氣亦
却テ益々昂揚シ、防空ニ、生産ニ、目覺
マシキ敢闘振リヲ示シテ居リマスコト
ハ、心強キ限リデアリマス、今後引續
キ執拗ニ繼續サレルモノト豫想セラル
ル敵ノ空襲ニ對シマシテハ、工場等ニ
對スル防護施設ノ急速ナル強化完備ヲ
圖リ、以テ敵襲下生産増進ノ遂行ニ聊
カノ障害運滞ナキヲ期シマス爲ニ、著
著所要ノ措置ヲ講ジテ居リマス、又同
時ニ、大都市ニ於ケル更に徹底セル家
屋並ニ人員ノ疎開ト、防空防護施設ノ
整備ヲ圖リ、斯クシテ今後敵機ノ來襲
如何ニ熾烈ヲ加フルトモ、軍官民一體、
斷ジテ之ニ屈セザル防空態勢ノ完備ヲ

期スル所存デアリマス、我等一億同胞
ハ、我が本土ガ既ニ國土防衛ノ戰場ト
化シマシタル今日、擧ツテ皇國護持ノ
闘現ヲ振起シ、何時如何ナル場所ニ敵
ノ侵襲ヲ見マセウトモ、斷ジテ國土防
衛ノ重責ヲ完ウスルノ決意ヲ固メ、其
ノ戰場即應ノ日常生活ヲ通ジテ、生産
ニ、防空ニ、明瞭敢闘ノ精神ヲ發揮セ
ネバナラヌモノト確信致シマス、次ニ
軍需生産ノ増進ニ付テ考察致シマスル
ニ、前線ニ攻圍シツ、アル將兵ノ齊シ
ク銃後ニ熱望シツ、アルモノハ、優秀
ナル航空兵器ノ一大増産デアリマス、
特別攻撃隊ノ必死必中ニ依ル敵艦船ノ
擊滅モ、航空兵器ノ一大増産アツテコ
ソ可能デアリマス、尙政府ハ、航空兵
器ノ外、鋼鐵、輕金屬、液體燃料等ノ
生産ノ増進ヲ圖リ、戦力ノ基礎ヲ確立
スルト共ニ、大東方面ノ生産増進ヲ支
援促進シ、又各般決戦兵器ノ創成ト性
能向上ヲ期スベキ科學技術力ノ動員強
化ニ關シ、有ラユル努力ヲ傾注スル決
意デアリマス、又生産ノ防衛ト一體の
強化ヲ圖ル爲、此ノ際應到ナル計畫ノ
下ニ、軍需工場等ノ分散疎開、地下移
設ヲ急速ニ實行致シマス共ニ、勞務、
資材等ヲ徹底の戦力化スル爲、更に
企業整備ヲ促進致シタキ考デアリマス、
而シテ之ガ實施ニ當リマシテハ、能フ
限り是等工業ノ地方的綜合の自立ヲ期
スル考デアリマス、食糧ノ確保ガ國民
生活ヲ安定シ戦力ノ増進ヲ圖ル爲ノ基
礎デアリマスコトハ、茲ニ申ス迄モア

リマセヌガ、今後ニ於ケル食糧需要ノ
増大ト輸送力ノ現況ニ鑑ミマシテ、有
ラユル困難ヲ克服シテ、各地ノ實情ニ
即シ、米麥ハ固ヨリ甘藷等ノ非常増産
ヲ實行シ、國內自給ノ飛躍的増進ニ努
ムル所存デアリマス、以上申述べマシ
タ國家戦力ノ確保増進ノ根本ハ、結局
國民ノ勤勞力ニ在リマス、全國民ヲ剩
ス所ナク動員シ、勤勞能率ヲ最高度ニ
發揮スルコトニ依ツテ、始メテ是等ノ
目的達成ヲ期シ得ラル、ノデアリマス、
即チ政府ハ、勤勞ノ動員及管理ニ關シ、
一貫調整ヲ強化シ、效率の刷新改善ヲ
圖ラムトスルモノデアリマス、就中現
下ノ生産完遂上、學徒ハ極メテ重要ナル
地位ヲ占ムルノミナラズ、皇國ノ明日
ヲ背負フベキ重大ナル使命ヲ有スルニ
鑑ミ、根本のニ行學一致ノ實ヲ擧ゲ、
學徒ヲシテ安シテ御奉公シ得ルノ方
途ヲ講ジタイト考ヘマス、而シテ各種
必要ナル勞務ニ關シマシテハ、今日ノ
場合、先ヅ當該地方人の總動員ニ依リ
充足ヲ圖ルコト、シ、特ニ勞務ノ機動的
運用ヲ活潑ニ行ヒ、且官民ノ組織的
挺身出勞ヲ強力ニ指導シ、以テ國民皆
働ノ實ヲ具現セムコトヲ期シテ居リマ
ス、海上輸送力ノ増進ニ關シマシテハ、
政府ハ萬難ヲ克服シテ新船建造ノ促進
ニ努メマスルト共ニ、少クトモ現有船
腹ノ確保並ニ其ノ效率の運営ヲ期シテ
居リマス、尙敵襲下幾多ノ危險ヲ顧ミ
ズ日夜挺身出勞セラレツ、アル船員諸
君ニ對シ、此ノ際衷心ヨリ感謝ノ意ヲ

表シマスルト共ニ、是等船員諸君ノ處
遇ニ付適切ナル改善ヲ加フル方針デア
リマス、又海運貨物ノ陸運轉移ヲ更ニ
強化セムガ爲、今後益々内鮮ノ重要幹
線鐵道ノ施設ヲ強化シ、日滿支間ニ於
ケル大陸輸送力増進ノ方途ヲ講ジマス
ルト共ニ、特ニ非常事態ニ備ヘテ、陸運
運送ノ戰場的體制ヲ急速ニ實施スルコ
ト、致シマシタ、最後ニ前議會ニ於テ
考慮ヲ約シマシタ朝鮮及臺灣在住ノ同
胞ニ對スル處遇ノ改善ニ付キマシテ
ハ、政府ハ既ニ内地ヘノ渡航、移籍、
就學及就職、勞務ノ取扱ナドニ關シ、
ソレハ適切ナル處遇改善ノ措置ヲ講
ジ、内外地間ノ障礙撤廢ニ數歩ヲ進ム
ルコト、致シマシタガ、更に兩地在住
同胞ノ多年ノ念願タル政治的處遇ノ改
善ニ付キマシテモ、此ノ際之ヲ急速ニ
解決シ、眞ニ内外地一體ノ體制ヲ完
致シマスコトハ、時局下一億結集ヲ要
要トスル國家の要請ナルヲ認メ、其ノ
方法、時期等ニ關シ慎重檢討ヲ遂グル
爲、調査會ヲ設置シ、目下具體案ヲ作
製中デアリマスノデ、幸ニ諸君ノ御協
力ヲ得、其ノ速カナル實現ヲ期シタイ
ト存ズルノデアリマス、而シテ以上申述べ
マシタ各般ノ施策ヲ、強力ニ實行致シ
マスル爲ニハ、官民共ニ深刻現戰局ノ
重大性ヲ正視シ、政府自カラモ率先垂
範直ノ刷新ニ努メ、同胞ヲシテ安ンジ
テ其ノ職域ニ挺身セシメ得ベキ施策ノ
具現ニ萬全ヲ期スベキハ勿論デアリマ
スガ、一億同胞亦國體護持ノ氣魄ヲ

常實踐ノ上ニ徹底シ、愈、道義ヲ社會ニ確立シ、土氣ヲ昂揚シ、益、必勝ノ圖魂ヲ振ツテ實務ノ完遂ニ邁進セラレムコトヲ切望シテ已ミマセヌ、惟フニ今次戰爭ノ本質ハ、所謂生力死力ノ苛烈ヲ極ムルモノデアリマシテ、皇國ノ國體ヲ無第二護持シ得ルカ否カハ、今日ノ官民總努力ノ成果ガ、克ク此ノ戰爭ヲ勝利ヲ取リ得ルカ否カノ一途ニ繫ツテ居ルノデアリマス、敵ハ濫リニ戰後ノ國際機構案等ヲ論議シ、帝國ニ對シテハ一切ノ妥協ヲ排シ無條件降服ヲ呼號シテ、帝國ノ抹殺ヲ企圖シテ居ルノデアリマシテ、斯クノ如キ白日夢ハ固ヨリ嘲笑ノ外ハナイノデアリマスガ、皇國ノ國體ヲ無窮ニ護持スルノ途ハ、官民ガ斷乎一切ノ障礙ヲ破碎シテ物心ノ總力ヲ聖戰ノ目的完遂ニ結集スルコトニ存シマス、サレバ政府ハ以上所述ベマシタ方針ニ基キマシテ、作戰ニ即應シツ、諸般ノ決戰策ヲ強力ニ實行シ、以テ戰勝把握ヘノ必勝態勢ヲ確立シ、中央地方ヲ通ズル行政ノ強力ナル機動的運營ニ依リ、其ノ速カナル滲透實現ヲ期セムトスルモノデアリマス、平和ノ美名ニ隠レタル彼等米英民族ノ貪婪飽クナキ世界制覇ノ野望ガ、戰爭ノ進展ト共ニ漸次白日ノ下ニ露呈セラレ、既ニ彼等ノ占領セル地域ニ於テハ、獵物ノ分配ヲ繞ツテ深刻ナル相剋對立ガ暴露セラレ、漸次潰成セラレツ、アルニ對シ、我が東亞ノ諸國家ハ、東亞復興ノ共同ノ理想ノ下ニ敵ノ侵攻ニ對シテ

愈、結束ヲ固クシ、飽ク迄モ東亞ヲ保衛セムトノ決意ニ振ヒ立チ、其ノ總力ヲ結果シテ敢然戰爭ノ完遂ニ邁進シテ居ルノデアリマシテ、大東亞共同宣言ニ結晶セラレタル共存共榮ノ道義理念ハ、米英ノ侮蔑ヲ極ムル侵略的戰爭目的ノ等ト比スベクモアリマセヌ、帝國政府ト致シマシテハ、東亞諸國家諸民族ノ此ノ敢闘精神ニ對シ、衷心ヨリ敬意ヲ表シマスト共ニ、飽ク迄モ大東亞共同宣言ニ開示セラレタル各國共同ノ信念ト決意トニ基キ、大東亞ノ解放ト復興ト爲、共同ノ戰爭ヲ完遂シ、五原則ニ明示セラレタル共同理念ノ具現ニ向ツテ邁進セムコトヲ期シテ居ルモノデアリマス、一方我が盟邦獨逸國ハ、今ヤ自國本土ニ敵ヲ邀ヘテ土氣愈々旺盛、克ク敵ノ必死ノ猛攻ヲ支ヘテ之ニ大損害ヲ與ヘテ居リマス、特ニ「ドイツ」國民ハ、連日大空襲ヲ受ケ、日常生活又極メテ困難ナル實情ニモ拘ラズ、聊カモ屈スルコトナク、愈々團結ヲ固クシテ祖國防衛ニ邁進シ、更ニ國力ノ徹底的動員ト軍需生産ノ進直シヲ斷行シ、昨年十二月中旬以來、西部戰線上廣大ナル正面ニ於テ大攻勢ニ轉ジ、目下十數萬ニ上ル所在ノ米軍ヲ擊攘中デアリマス、私ハ「ヒットラー」總統ノ下、「ドイツ」國民ガ更ニ彈力ヲ發揮シテ敵ニ大ナル痛撃ヲ加ヘ、敵ヲシテ起ツ能ハザラシムル日ノ近カラムコトヲ期待シ、切ニ「ドイツ」國民今後ノ健闘ヲ祈ル者デアリマス、斯クシテ郷土防衛ノ

爲ニ奮起セル東亞諸國ノ鐵石ノ團結ト、盟邦「ドイツ」ノ目覺マシキ反響ノ前ニ、敵ハ其ノ戰力ヲ東西ノ兩戰線ニ分配セザルヲ得ザルニ至リ、補給ニ深刻ナル脅威ヲ受クルニ至ツテ居ルノデアリマシテ、斯レテ諸國ノ敵米國モ、其ノ人的資源ノ逼迫ヲ原因トシテ、既存計畫ニ行キ詰リヲ來タシ、軍需生産ノ不足ヲ如實ニ體驗シツ、アリマシテ、今ヤ其ノ國民ニ對シ、戰局必ラズシモ樂觀ヲ許サズ、判期的ナル培養ヲ實現スルニ非ザレバ、戰爭ノ短期終結ハ不可能ナルコトヲ警告スルト共ニ、新タニ國民徵用法ヲ制定セムトシツ、アルノ實情デアリマス、斯クテ今ヤ戰局ハ、正ニ彼我ノ相較ベノ決戰段階ニ到達シタノデアリマシテ、今後愈々加重スベキ如何ナル苦難ニモ敢然耐エ拔キ、如何ナル危局ニ遭遇スルモ決シテタジログコトナキ必勝ノ圖魂ヲ持續シテ、最後迄戰ヒ抜ケ者ガ克ク最後ノ勝利ヲ制シ得ベキモノト信ジマス、サレバ一億同胞ハ、前線將兵ノ奮戰ニ呼應シテ飽ク迄モ國體護持ノ精神氣魄ヲ堅持シ、千苦萬苦ニ耐エテ、只管戰力ノ増強、國土ノ防衛ニ敢闘シ、速カニ聖戰ノ目的ヲ完遂シテ後援ヲ安ジ奉ラネバナリマセヌ、終リニ臨ミ今回政府ヨリ提出致シマシタ諸議案ニ付キマシテハ、何卒慎重審議ノ上、速カニ協賛ヲ與ヘラレムコトヲ切望スル次第デアリマス(拍手)

○議長(公爵德川國親君) 重光外務大臣(國務大臣(重光葵君) 今日敵前議會ニ於テ、帝國ノ對外政策ニ關シ所見ヲ開陳スルノ機會ヲ得マシタコトハ、私ノ最も光榮トスル所デアリマス、世界戰爭ハ逐日白熱シ、交戰國ハ何レモ國家ノ總力ヲ結集シテ戰場ニ投入シツ、アツテ、東西ノ戰局ハ、眞ニ決戰段階ニ在ルヲ思ハシムルモノガアリマス、國內ニ幾多ノ脆弱面ヲ包藏スル敵ハ、愈々戰爭ノ終結ヲ焦ツテ、頻リニ猪突シツ、アリマス、軍事ニ付テハ、吾人ハ我が陸海軍ノ善戰勇戰ニ絕對ノ信頼ヲ寄セルモノデアツテ、戰況ノ一進一退ニ一喜一憂スルモノデハアリマセヌ、皇軍ハ到ル所奮戰ヲ續ケ、特別攻撃隊ノ奮氣ハ、全軍ノ精神デアルト共ニ、全國民ノ精神デアツテ、終局ノ勝利ノ我ニ歸スベキハ秋毫ノ疑モナイノデアリマス、帝國ト同盟諸國トノ連繫ハ愈々固ク、吾人ハ飽ク迄此ノ戰爭ヲ我が同盟諸國ト共ニ戰ヒ抜ケモノデアリマス、今日「ドイツ」ハ幾多ノ難關ヲ突破シ、驚歎スベキ敢闘ヲ續ケテ居ルノデアリマス、米英ガ「デヘラン」會議ニ於テ決定シタル東西南ヨリスル對獨逸攻撃ハ、有ラユル謀略的策動ト共ニ遂行セラレ、更ニ敵ハ「ドイツ」及ビ「ドイツ」民族ヲ永久ニ起ツ能ハザラシムル爲、領土ハ之ヲ分割シ、民族ハ之ヲ移動シ、政體ハ之ヲ變更シ、日獨兩國ノ大國トシテノ

存在ヲ抹殺セムト公言シテ懼ラヌ次第ニ「ドイツ」ハ昨年七月二十日、「ヒットラー」總統暗殺未遂ノ際ヲ以テ最大ノ危機ニ直面致シタノデアリマス、計畫ハ失敗ニ歸シ、「ドイツ」ノ内外ニ對スル形勢ハ完全ニ立直直ツタノデアツテ、「ドイツ」國民ガ「ヒットラー」總統ノ下ニ一枚結束、敵ヲシテ一步モ國土ヲ微サシメザル鐵血ノ意志ノ下ニ戰ツテ居ル姿ハ、眞ニ偉闊デアリマス、果然「ドイツ」ハ西部戰線ニ於テ攻勢ニ轉ジ、既ニ米軍ノ重要ナル部分ヲ粉碎シタノデアリマス、吾人ハ「ドイツ」ガ如何ナル苦境ニ立ツテモ、泰然自若トシテ、自ラ信ズルコト厚ク、搖ガザル必勝ノ信念ヲ以テ勇往邁進スル姿ヲ見テ、感激ノ念ヲ催サザルヲ得ヌノデアリマス、他方「ムソリニ」イタリ「亦著々國軍ヲ整備シ、名譽ト光輝トヲ以テ「ドイツ」ト共ニ勇戰シツ、アル次第デアリマス、自存自衛ノ戰ニ於テ、國際正義實現ノ共同ノ戰爭目的完遂ノ爲ニ、人類將來ノ進ヲ拓クベキ深刻ナル戰闘ヲ、東西ノ同盟諸國ト共ニ戰ヒ抜ケムトスルノハ、吾人ノ最モ神聖ナル使命デアルト信ズルノデアリマス、「ドイツ」ノ健闘ハ米英ノ連膽ヲ愈々白日ノ下ニ暴露スルニ到リマシタ、「ヨーロッパ」戰爭ハ、言フ迄モナク英國ノ「ポーランド」問題干涉ニ始ツタノデアリマス、而シテ「ルーマニヤ」「ギリシャ」等ノ小國ニ對スル援助ノ保障モ、畢竟スルニ勢力均衡政策ノ露

ニ外ナラヌノデアリマス、然ルニ今や開戦ノ口實ニ使用セラレタ小國ノ利益ハ、之ヲ口實トシテ大國ノ爲ニ完全ニ無視セラレ、**「ポーランド」**ハ今日ハ既ニ棄兒トナリ、開戦當初「**マグナカルタ**」トシテ、其ノ名モ大西洋憲章ト呼バレ、米英ノ生命線ト稱セラレタ政策ハ、今日ハ塵芥ノ如ク捨テ、顧ミラレズ、道理ノ假面ハ脱ギ去ラレテ、力ノ政策ノミガ赤裸々ニ其ノ醜キ姿ヲ現ハシテ居ルノデアリマス、彼等ハ自由愛好國ト自稱シテ居ルガ、其ノ戰爭目的ハ、小國ノ權ヲモナク、自由ノ尊重ヲモナイノデアリマス、米英ヲ中心トスル大國獨裁ノ世界組織ヲ建設スルノガ其ノ目的デアリマス、而モ彼等ハ其ノ間不用意ニモ、戰爭ノ眞最中ニ、次ノ戰爭ヲ豫想シ、之ニ對スル準備ヲ爲シツ、アツテ、彼等ハ既ニ其ノ戰爭目的ニ於テ重大ナル矛盾ヲ暴露シテ居ルノデアリマス、彼等自身戰爭ニ對スル信念ヲ缺如セルコトハ、敵側輿論ノ動向ニ徴スルモ明瞭ナ所デアリマシテ、敵ハ既ニ其ノ政策ニ於テ敗レテ居ルノデアリマス、政策ノ破綻ハ戰爭其ノモノノ破綻ノ端緒デナケレバナラヌノデアリマス、大東亞戰爭ハ實ニ米英ガ、斯カル企圖ニ對シテ障礙トナル日本ノ勢力ヲ除カウトシタ爲ニ誘發セラレタモノデアツテ、彼等ハ東亞人ノ郷土ヲ奪ツテ、永久ニ彼等ノ殖民地ト爲シ、世界支配ノ基地トシテ之ヲ使用セムトスルモノデアリマス、吾人ノ死活ノ戰爭ハ、實ニ東亞

保衛ノ戰爭デアツテ、「**アジア**」ノ解放、東亞ノ復興ナル正義ノ戰爭目標ハ、茲ニ至ツテ益々鮮明ヲ加ヘテ來タノデアリマス、今日「**アジア**」ハ覺醒シタノデアル、而シテ東亞ハ解放セラレタノデアル、多年ニ互ル米英勢力ノ侵略擄取ヨリ解放セラレタル東亞ハ、新タナル敵ノ侵入ニ對シテ、國土防衛ノ聖戰ヲ戰ツテ居ルノデアル、然リ而シテ若シ此ノ戰ニ破レルガ如キコトアラバ、東亞各民族ハ永遠ニ擄取侵略セラル、コトニナルノデアツテ、東亞各國ノ存立モ、東亞全體ノ復興モ、固ヨリ一場ノ夢ト化スルノ外ナイノデアリマス、東亞ノ民族ガ相携ヘテ此ノ郷土防衛ノ戰爭ヲ戰ヒ拔カムトスル所以ノモノハ實ニ茲ニ存スルノデアツテ、聖戰完遂ニ對スル無限ノ力ノ湧キ出ヅル所以ノモノモ亦茲ニ存スルノデアリマス、比島ノ防衛ガ今日東亞保衛ノ焦點ヲ成シテ居ルコトハ言フ迄モアリマセヌ、米國ガ新タニ侵略ヲ開始スルヤ、「**フィリピン**」ハ毅然トシテ米國ニ對シテ宣戰シ、大統領「**ラウレル**」氏ノ陣頭指揮ノ下ニ、皇軍ト共ニ深刻ナル戰ニ從事シテ居ルコトハ、全世界ノ等シク注目スル所デアリマス、東亞保衛ノ他ノ重點ガ「**ビルマ**」戰線デアルコトハ又總言ヲ要シマセヌ、「**ビルマ**」ハ獨立以來一年有半、終始激闘ノ中ニ立ツテ、「**バーモウ**」國家代表ノ卓拔ナル指導ノ下ニ、「**アジア**」解放ノ最前線ニ於テ奮闘シツ、アリ、以テ東亞人ノ爲萬丈ノ氣ヲ吐イテ居ル次第デアリマス、「**インド**」ノ解放ハ「**アジア**」

解放ノ鍵デアリ、世界正義顯現ノ重點デアルコトハ既ニ識者ノ定説デアリマス、「**スバスタチヤンドラ・ポース**」首班ハ、自ラ自由印度軍ヲ率ヒテ、「**インド**」ノ解放ノ爲ニ必ス力ヲ傾テセラレテ居リマシテ、尙前途渺カラザル困難ヲ豫想セラルト雖モ、終局ニ於テ此ノ大業ガ達成セラレベキコトハ吾人ノ固ク信ズル所デアリマス、帝國政府ハ、最近自由印度假政府ニ對シテ外交代表ヲ任命スルニ至ツタノデアリマシテ、今後同政府ノ活躍ハ期シテ待ツベキモノガアルト確信スル次第デアリマス、「**インドネシア**」民族ハ、曩ニ公表宣言セラレタル帝國ノ誠意ニ應ヘ、著々獨立ノ準備ヲ整ヘ、皇軍ニ協力致シテ居ル次第デアリマス、帝國政府ハ「**インドネシア**」獨立實現ノ日ノ速カニ來ラムコトヲ希望スルモノデアリマス、我が同盟國「**タイ**」國ニ於キマシテハ、新進氣鋭ノ「**クオン・アパイウオン**」内閣ガ新タニ組織セラレ、帝國トノ協力ニ於テ緊密ナル所ナク、相共ニ東亞復興ノ大業ニ有ラユル努力ヲ傾倒致シテ居ルコトハ、眞ニ意ヲ強ニスル次第デゴザイマス、我が戦力ノ重要ナル背景ヲ構成シテ居ルモノハ滿洲國デアリマス、滿洲國ハ帝國ト一德一心ノ盟約益々固ク、直接間接ノ中ニ在ツテ、物心兩面ニ互リ完全ニ協力ノ關係ニ在リ、我が戦力ニ貢獻スル所絶大デアリマス、中華民國ニ於テハ、曩ニ偉大ナル

東亞ノ先覺者汪精衛氏ガ、全面和平實現ノ中道ニシテ逝カレマシタコトハ、獨リ中國ノ爲ノミナラズ、東亞ニ取テモ一大損失デアリマシテ、帝國政府ノ痛惜措ク能ハザル所デゴザイ、汪氏ノ肉體ハ亡ビテモ神靈ハ尙現存シテ居リマス、國民政府ハ新タニ陳公博氏ヲ首班トシテ故汪主席ノ遺訓ヲ體シ、國父ノ法燈ヲ繼ギ、一致團結國事ノ多難ニ挾シ、同生共死以テ日支ノ協力ニ盡瘁セラレテ居リマス、而シテ日支ノ關係ハ、曩ニ締結セラレタル日華同盟條約ニ依ツテ明定セラレテ居リマシテ、帝國ノ對支政策ハ、所謂新政ヲ實施以來、確定不動ノモノガアルノデアリマス、今後モ既定方針ニ從ツテ、政治兩面ニ於テモ、將又經濟兩面ニ於テモ、有ラユル困難ヲ排除シ、徹底ノ施策ヲ運用セムトスルモノデゴザイマス、此ノ機會ニ支那ヲ中心トスル國際問題ニ付テ一言致シタイノデアリマス、「**アジア**」人ヲ相互ニ相爭ハシメテ漁夫ノ利ヲ占ムトスル英國ノ政策ハ、其ノ儘米國ノ繼承スル所トナリ、支那ニ於テ最モ明瞭ニ露呈致シテ居ル次第デゴザイマス、彼ハ到底日本ノ屈服ヲ期スルコト能ハザルヲ知ルガ故ニ、飽ク迄モ支那ヲ使喚シテ非望ヲ達セムト欲スルモノデアツテ、永久ニ日支ヲ相爭ハシメムトシテ、甘言ト威嚇トヲ以テ支那ヲ抗日戰線ニ驅リ立テ、居ル有様デアリマス、ノミナラズ彼等ハ斯クノ如ク支那ノ犠牲ニ於テ對日戰

爭ニ於ケル自己ノ負擔ヲ輕減シツ、之ニ依ツテ加重セラル、支那ノ苦境ニ乗ジ、支那大陸ニ按クベカラザル獨占排他ノ勢力ヲ扶植セムト畫策シツ、アリマス、其ノ爲メ方ニ東亞ノ安定ヲ破壞スルモノデアツテ、敵ノ此ノ破壞政策ハ、到底我が建設政策ト相容ル、コトハ出來マセヌ、帝國ノ對支政策ノ目的トスル所ハ、東亞ノ一員トシテ覺醒シ、他國ト平等互惠ノ關係ニ立ツ新興支那ノ建設デアリマシテ、支那ニ於テ和平ガ實現シタル點ニ於テハ、帝國ハ支那ヨリ全面的ニ撤兵スルコトヲモ既ニ公約致シテ居ル次第デアリマス、大東亞戰爭ハ支那問題ニ發シテ支那問題ニ歸ルトモ言ヘルノデアツテ、支那ガ斯クノ如クシテ大義ニ復歸スルコトニ依ツテ、始メテ東亞ノ安定ハ確保セラレルノデアリマス、帝國ガ今日軍ヲ南支那ニ進メテ居ルノハ、其ノ目指ス所ハ米國ノ軍隊デアリ、其ノ基地デアツテ、支那ヨリ米國ノ擾亂勢力ヲ驅逐シテ、支那ヲ支那人ノ手ニ還シ、吾人ト共ニ相並ンデ東亞復興ノ大業ニ貢獻セシムコトヲ企圖スルガ爲デアリマス、今や皇軍ノ進駐ニ依ツテ南北ヲ打通シ、米軍基地ニ大打撃ヲ與ヘ、政略兩略上完全ニ一致シタル一大成果ヲ擧ゲ得タコトハ、慶賀ノ至リニ堪ヘマセヌ、帝國ト中立諸國トノ關係ハ、事實上米英勢力ノ下ニ在ルモノヲ除キ、何レモ戰時ノ困難ヲ排除シ、友好ノ關係ヲ持續シテ居ルコト從來ト變リナキ次

第デゴザイマス、時ニ「スエーデン」
「スミス」及「スペイン」諸國が繁多ナル
帝國ノ敵國ニ於ケル利益代表事務ヲ引
受ケテ、既ニ長イ間我が殘留民ノ保護
ニ任ゼラレテ居ル點ニ對シテハ、深ク
感謝ノ意ヲ表スル者デアリマス、「ソ」
聯トノ關係ハ中立條約ニ依ツテ律セラ
レ、日「ソ」兩國ノ世界政局ニ有スル地
位ニ鑑ミ、兩國政府ハ常ニ密接ナル接
觸ヲ保ツテ居ル次第デアリマシテ、昨
年三月締結スルニナリマシタル移讓
取極メノ實行及治業條約ニ依ル漁業權
ノ行使ヲ始め、日「ソ」間ノ多數案件ニ關
スル交渉ハ、順調ニ取運バレテ居ル有
様デアリマス、凡ソ世界ノ恒久平和ハ、
米英ノ武力政策ニ依ツテハ到底之ガ達成
ヲ望ムコトハ出来マセヌ、世界ノ平和
的秩序ハ、各國間ノ親和ト協力トニ依
ツテノミ得ラルベキデアツテ、大東亞
宣言ノ精神ハ實ニ茲ニ存スルノデアリ
マス、曩ニ帝國議會ヲ通ジテ世界ニ聲
明セル我が外交ノ五原則ナルモノハ、
即チ之ニ基ク具體策デアリマス、茲ニ
繰返シテ述べバ、第一、國際間ニ於
テハ平等互惠ヲ主旨トシ、善隣友好ノ
關係ヲ發展セシメ、以テ各民族國家相
互親和ノ天地ヲ拓イテ、恒久平和ノ確
立ヲ期スルコト、第二、民族主義ノ政
策ヲ尊重シ、各民族及國家ヲシテ各、其
ノ所ヲ得シムルコト、第三、内政不干
渉ノ主義ニ依リ、國ノ大小ヲ問ハズ、
相互ニ主權及獨立ヲ尊重シ、統治ノ形
式ト其ノ指導理念トハ、各國ノ内政

問題トシテ、他國ハ之ニ干渉スベカラ
ザルコト、第四、經濟ノ分野ニ於テハ、
協力ト開放トヲ趣旨トシ、互惠ノ原則
ニ依リ通商交通ノ自由發達並ニ資源ノ
相互開放ヲ實現スベキコト、而シテ第
五、文化ノ國際的交流ヲ促進シテ、以
テ世界ノ平和ト進運トニ貢獻スベキ
コト、此ノ五點ニ歸著スルノデアリマ
シテ、細目ノ施策ハ自カラ是ヨリ生レ
ルノデアリマス、一言ニシテ之ヲ述ブ
レバ、帝國ノ主張スル所ハ不脅威不侵
略ノ世界ヲ建設セムトスルノニアルノ
デアリマス、斯クノ如キ我が政策ノ根
本義ハ、世界各國ヲシテ之ヲ十分理解
セシムル爲、有ラユル手段ヲ執ラネバ
ナラスノデアリマス、而シテ我が公正
ナル政策ハ、必ズヤ各國ノ共鳴スル所ト
ナリ、我が國際正義實現ノ戰爭目的ハ、
必ズヤ世界ノ承認スル所トナルコ
トヲ信ジテ疑ヒマセヌ、正義ノ戰ハ必
ズ勝ツノデアリマシテ、是レ實ニ吾人
ガ必勝ノ信念ニ燃ユル所以デアリマス、
世界ノ大變動ヲ意味スル戰爭ニ於テ、
奇蹟ハ望ムベカラズ、又幾多波瀾ノア
ルコトハ固ヨリ當然デアリマス、試煉
ヲ重スルニ從ヒ、此ノ死活ノ戰ヲ戰ヒ
抜カムトスル吾人ノ決意ハ愈々鞏固トナ
ルノデアリマス、戰爭ノ深刻トナルニ
伴ヒ、外交モ亦益々多難デアリコトハ覺
悟ノ前デアツテ、苟モ施策ヲ進ムル上
ニ間然スル所ナキヲ期セバナラヌト
心得テ居ルノデゴザイマス、小策ニ墮
スルコトナク、大義名分ニ則リ、確乎

不動ノ態度ヲ以テ大ニヲ進スルニ於
テハ、必ズヤ東亞將來ノ途ハ啓ケ行
クモノト信ズルノデアリマス、不肖ハ帝
國ノ對外政治ヲ擔當スルモノトシテ、
茲ニ此ノ決戰段階ニ於テ前線勇士ノ心
ヲ心トシ、御稔成ノ下、諸君ト共ニ東
亞ノ將來ヲ切り開イテ行クコトニ全力
ヲ傾倒スルコトヲ固ク誓フ次第デア
イマス(拍手)

○議長(公費德川閣議) 是ヨリ議事
日程ニ移リマス、日程第一、恩給法中
改正法律案、政府提出、第一讀會、三
浦法制局長官

左ノ提出文及案ハ朗讀ヲ
電サレモ參照ノタメ茲ニ
附録ス以下之ニ做フ

右
勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス
昭和二十年一月十九日

内閣總理大臣	小磯 國昭
海軍大臣	米内 光政
外務大臣	重光 葵
陸軍大臣	杉山 元
大藏大臣	石渡 壯太郎
運輸通信大臣	前田 米藏
司法大臣	松阪 廣政
内務大臣	大達 茂雄
文部大臣	二宮 治重
農商大臣	島田 俊雄
厚生大臣	廣瀬 久忠
軍需大臣	吉田 茂

恩給法中改正法律案
恩給法中左ノ通改正ス
第十八條第一項中「又ハ神宮皇學館」
ヲ削ル
第三十三條ノ二 公務員内國ノ交戦
ノ地域内ニ於テ危險ヲ顧ミス其ノ
職務ヲ以テ勤務シタルトキハ其ノ
期間ノ一月ニ付キ二月以内ヲ加算
ス

前項ノ内國ノ交戦ノ地域及期間並
加算ノ程度ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第四十六條ノ二 第一項ヲ左ノ如ク改
ム
公務員公務ノ爲永續性ヲ有スル傷
疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ不具廢疾ノ
程度ニ至ラサルモ勅令ノ定ムル
程度ニ達シ失格原因ナクシテ退職
シタルトキハ之ニ傷病年金ヲ給ス
第五十六條ノ二 第一項中「特例ニ從
フ」ノ下ニ「但シ戰闘ノ爲傷病ヲ受ケ
之カ爲死亡シタル際ニ階等以上進級
シタル軍人ニ付テハ此ノ限ニ在ラ
ス」ヲ加フ

第六十五條ノ二 第二項中「前項」ヲ
「前二項」ニ改メ同條第一項ノ次ニ左
ノ一項ヲ加フ
前條第一項但書ノ規定ハ傷病年金
ヲ給スヘキ者ノ退職當時ノ階等ニ
付テ之ヲ准用ス

第七十五條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ戰闘ノ爲傷病ヲ受ケ之カ爲死
亡シタル際ニ階等以上進級シタル
軍人ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九十一條第一項中「内地人タル」ヲ
削リ同項ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ臺灣又ハ朝鮮ニ本籍ヲ有スル
公務員其ノ本籍ノ存スル地域ニ在
勤シタルトキ其ノ在勤期間ニ付テ
ハ此ノ限ニ在ラス

附則

第一條 本法ハ昭和二十年四月一日
ヨリ之ヲ施行ス但シ第三十三條ノ
二ノ改正規定ハ昭和十九年一月一
日ヨリ之ヲ適用ス
第二條 公務員又ハ之ニ準ズベキ者
公務ノ爲永續性ヲ有スル傷病ヲ受
ケ又ハ疾病ニ罹リ不具廢疾ノ程度
ニ至ラザルモ勅令ノ定ムル程度ニ
達シ昭和十六年十二月八日以後本
法施行前失格原因ナクシテ退職シ
タルモ改正前ノ恩給法第四十六條
ノ二ノ規定ニ依リ傷病年金ヲ給セ
ラザル者ニハ本法施行後勅令ノ
定ムル所ニ依リ傷病ノ程度ヲ査定
シ將來ニ向ツテ之ヲ給ス

第三條 昭和十六年十二月八日以後
本法施行前戰闘ノ爲傷病ヲ受ケ之
カ爲死亡シタル際ニ階等以上進級
シタル軍人ノ遺族ニシテ本法施行ノ
際現ニ從前ノ規定ニ依リ扶助料ヲ受
ケ又ハ受クベキモノニハ當該金額
ニ其ノ金額ト本法所定ノ扶助料ノ
金額トノ差額ヲ勅令ノ定ムル所ニ
依リ將來ニ向ツテ増給ス

○政府委員(三浦一雄君等) 只今議題ト
「政府委員(三浦一雄君等)」

ナリマシタ恩給法中改正法律案ニ付キマシテ、提案ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、今回ノ改正ノ第一點ハ、殊勳ヲ奏シ戦死ノ際ニ進級シマシタ軍人ニ付キマシテ、恩給額算定ニ關スル制限ヲ撤廢スルコトデアリマス、現行法ニ於キマシテハ、退職又ハ死亡ノ直前ニ大幅ニ進級シマシタ者ノ恩給額ガ、不當ニ多額ナルコトヲ避クル趣旨ノ制限規定ガ設ケラレテ居ルノデアリマス、即チ退職又ハ死亡前一年内ニ、二級ヲ超エ昇給致シマシテモ、二級ダケノ昇級ガアツタモノトシテ恩給額ヲ算定スルコトニナツテ居リマス、而シテ必死必中ノ特別攻撃隊ノ勇士等ニ付テ之ヲ見マスルニ、何レモ戦死ニ際シ二階等或ハソレ以上進級ノ恩命ニ浴シテ居リマスルガ、概ネ此ノ制限規定ノ適用ヲ受ケ、進級シタ階等ニ相當スル恩給ガ給セラレナイ結果ト相成リマスノデ、只今申上ゲマシタ現行ノ制限ヲ撤廢スルノ適當デアルト考ヘマシテ、之ニ關スル規定ヲ改メムトスルモノデゴザリマス、改正ノ第二點ハ、傷病年金ノ給與條件ノ緩和デアリマス、現行法ニ依リマスルト、下士官兵以外ノ公務員ガ、公務傷病ノ爲退職致シマシタ場合ニ、之ニ傷病年金ヲ給シマス爲ニハ、其ノ退職ガ、受傷又ハ罹病後一年内デアリ、且又傷病ノ爲職ニ堪ヘラレナイト云フ理由ニ基キマスコトヲ必要トスルノデアリマスガ、有ラユル方面ニ於キマシテ人員ノ不足ヲ告ゲテ居ル

現狀カラ致シマス、從來ナラバ退職セシメテ居リマシタ程度ノ傷病者デアリマシテモ、直チニ之ヲ退職セシメマセズデ、出來得ル限りハ引續キマシテ在職セシメマス必要ガアルト考ヘラレルノデアリマス、ソコデ假令此ノ種公務員ガ引續キ在職致シマシテ、退職ガ遅レ、受傷又ハ罹病ノ後一年ノ期間ヲ經過シタ後退職スルヤウニナリマシテモ、之ニ傷病年金ヲ給シ得ルヤウニ、右給與條件ヲ緩和致サムトスルモノデアリマス、改正ノ第三點ハ、内國ノ交戰地勤務加算制度ノ創設デアリマス、最近ノ戰局ノ推移ニ鑑ミマスルト、内國ノ特定地域ニ付キマシテハ交戰地域ト目サル、ニ立到ツタノガゴザイマス、斯カル地域ニ勤務スル公務員ニ對シマシテモ、外國ノ交戰地域ニ於ケル勤務加算トノ權衡上、或程度ノ加算ヲ認メマスルコトガ適當デアルト思ハレマスノデ、一月ニ付二月以内ノ内國ノ交戰地勤務加算ヲ設ケムトスルモノデアリマス、改正ノ第四點ハ、臺灣又ハ朝鮮出身ノ公務員ニ對スル在勤加算制度ノ創設デアリマス、臺灣、朝鮮、關東州、樺太又ハ南洋群島ニ勤務スル内地人タル公務員ニ對シマシテハ、在勤加算ノ制ガ認メラレテ居リマスガ、志願兵制度ノ採用、或ハ徵兵令ノ施行等ニ依リマシテ、臺灣又ハ朝鮮出身ノ公務員デ其ノ出身地以外ノ右地域ニ勤務スル者ガ多クナリ、又増加スル趨勢ニアリマスノデ、是等公務員ニ對シマシテモ、

均シク此ノ在勤加算ヲ認ムベキデハナイカト考ヘマシテ、所要ノ改正ヲ爲サムトスルモノデアリマス、尙此ノ外、法文ノ整理ニ類スル改正ヲモ加ヘマシテ本案ヲ提出シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速カニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ御願ヒ致シマス

○議長(公費德川國順君) 別ニ御質疑モナケレバ、日程第二、特別委員ノ選舉ニ移リマス

○子爵戸澤正巳君 只今議題トナリマシタ特別委員ノ選舉ハ、本會期中ヲ通過、特別ノ場合ヲ除キ、其ノ特別委員ノ數ヲ九名トシ、其ノ指名ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出致シマス、而シテ只今日程ニ上リマシタ恩給法中改正法律案ノ特別委員ノ數ヲ十二名トシ、其ノ委員ノ指名ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出致シマス

○子爵秋田重孝君 贊成

○議長(公費德川國順君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

○議長(公費德川國順君) 呼フ者アリ

○議長(公費德川國順君) 御異議ナシト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀致サセマス

〔河野書記官朗讀〕

恩給法中改正法律案特別委員

侯爵東郷 彪君 伯爵渡邊 昭君

子爵京極 高修君 子爵藤井 兼誼君

男爵井田 馨楠君 村上 恭君

下條 康廣君 黑崎 定三君

長谷川起夫君 男爵關 義壽君

大橋 理祐君 下出 民義君

○議長(公費德川國順君) 日程第三、明治三十五年法律第四十九號國勢調査ニ關スル法律ノ昭和二十年ニ於ケル特例ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會、三浦法制局長官

明治三十五年法律第四十九號國勢調査ニ關スル法律ノ昭和二十年ニ於ケル特例ニ關スル法律案

勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス

昭和二十年一月十九日

内閣總理大臣 小磯 國昭

明治三十五年法律第四十九號國勢調査ニ關スル法律ノ昭和二十年ニ於ケル特例ニ關スル法律案

明治三十五年法律第四十九號第一條第二項ノ規定ニ拘ラズ國勢調査ハ昭和二十年ニ於テハ之ヲ施行セズ

〔政府委員三浦一雄君登壇〕

○政府委員(三浦一雄君) 只今議題ニナリマシタ明治三十五年法律第四十九號國勢調査ニ關スル法律ノ昭和二十年ニ於ケル特例ニ關スル法律案ノ提案理由ヲ御説明申上ゲマス、我が國ノ國勢調査ハ、明治三十五年法律第四十九號國勢ノ調査ニ關スル法律ノ規定ニ依リマシテ、五年毎ニ之ヲ行ヒ來ツタノデアリマシテ、本年ハ恰モ第六回ノ國勢

調査ヲ施行スベキ年ニ該ツテ居リマス、而モ此ノ國勢調査ハ、帝國ノ全版圖ニ互ツテ一齊ニ行フベキ定メナツテ居リマス、併シナガラ戰局ノ現狀ニ於キマシテハ、帝國ノ全版圖ニ互ツテ、而モ一齊ニ調査ヲ實行シ得ルヤ否ヤハ、豫斷ヲ容サザル現狀デアラウト考ヘマス、加之資材、勞務、運輸等ノ逼迫セル情勢ト睨ミ合セマスレバ、法律ノ規定通りニ全版圖ノ調査ヲ施行スルコトハ適當ナラズト認メラレマスルノデ、昭和二十年ニ於キマシテハ、國勢調査ヲ施行スルコトヲ中止スルコトニ致シタイノデゴザイマス、以上ノ趣旨ヲ以チマシテ此ノ法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速カニ御協賛アラムコトヲ御願ヒ致シマス

○子爵戸澤正巳君 只今議題ニナリマシタ明治三十五年法律第四十九號國勢調査ニ關スル法律ノ昭和二十年ニ於ケル特例ニ關スル法律案ハ、恩給法中改正法律案ノ特別委員ニ併託セラレムコトノ動議ヲ提出致シマス

○子爵秋田重孝君 贊成

○議長(公費德川國順君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

○議長(公費德川國順君) 呼フ者アリ

○議長(公費德川國順君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公費德川國順君) 本日ハ議事ノ都合上、此ノ程度ニ於キマシテ延會致シタイト存ジマス、御異議アリマセ

ヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川圀順君） 御異議ナイ

ト認メマス、明日ハ午前十時ヨリ開會

致シマス、議事日程ハ、決定次第彙報

ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニ

テ散會致シマス

午前十一時二十二分散會

貴族院議事速記録第二號訂正

六頁一段三行目ノ次ニ左ノ一行ヲ加フ

西野 元君